

学校の第三者評価の評価手法等 に関する調査研究

B-1. 学校関係者評価委員の研修に係る調査研究

平成22年3月

株式会社三菱総合研究所

説明会の開催でこんないいことがありました

- 研修資料で、評価委員としての役割がわかってよかったです。自分が考えていたことが間違いではなかったと共感できました。(地域住民・評価委員)
- 今まで、他の方々は高度なご意見を言われるのに、一保護者の私は有意義な意見も言えず、委員でいてよいのかと思っていましたが、説明を受けて少し勇気がわきました。(保護者・評価委員)
- 学校関係者評価委員会を通じて、学校を応援できるのではないかと思います。(保護者・評価委員)
- 市町村全体の取組として方向性が納得できる説明でした。(教職員経験者・評価委員)
- 事例に即しながら、学校関係者評価の様子を伝えていければと思いました。終了後の評価委員の方からの感想を受け、よりよい研修会・説明会を考えていきたいと思います。(教育委員会担当者)

本書の目的と使い方

本書は、学校関係者評価の評価委員向け説明会を開催するにあたり、その際利用する基本的な説明教材を提供するとともに、説明会の実施手順や方法等についてとりまとめたものです。説明会は、教育委員会が主体となり、学校関係者評価に参画する保護者や地域住民の方々等を対象として実施することを前提に記述していますが、学校が、第一回の関係者評価委員会等で、評価委員の方々へ説明を行う際にも活用できる内容です。

■評価委員向けの説明会教材として活用してください

5～16ページ及び19～20ページには、説明会教材のモデルを掲載しています。各教育委員会の実情に応じて、一部、加筆をした上で、そのままお使いいただける内容です。「<http://www.mri.co.jp/gakkouhyoka>」からダウンロードしてご利用ください。

■学校が利用することも可能です

説明会教材は、教育委員会が主体となって開催する説明会を想定して作成しましたが、学校が、学校評価について評価委員に説明する際にも活用が可能です。学校が利用する際に変更や修正が必要となるスライドについては、 **学校がお使いになる場合** として利用方法を記載しました。

■地域や学校の実情に合わせてご利用ください

本書は、説明会の実施にあたり、必要と考えられることをいくつかの事例を踏まえて整理したものです。このまま使わなければならないわけではありませぬので、各地の個別の状況を踏まえながら、適宜、加筆、修正の上、ご利用ください。

■「学校関係者評価を活かしたよりよい学校づくりに向けて (学校関係者評価参照書)」(平成21年3月)と相互参照してください。

本書は、説明会の教材及び実施手順を取りまとめたものです。学校関係者評価そのものへの理解を深めるために、「学校関係者評価を活かしたよりよい学校づくりに向けて(学校関係者評価参照書)」(平成21年3月)をお読みいただき、相互に参照しながらご利用ください。

※学校関係者評価参照書に詳しく掲載されている内容については、 **学校関係者評価参照書** で明記しました。

 「学校関係者評価を活かしたよりよい学校づくりに向けて(学校関係者評価参照書)」
(平成21年3月)
http://www.mri.co.jp/NEWS/press/2009/pr090415/pr090415_hlu01.pdf

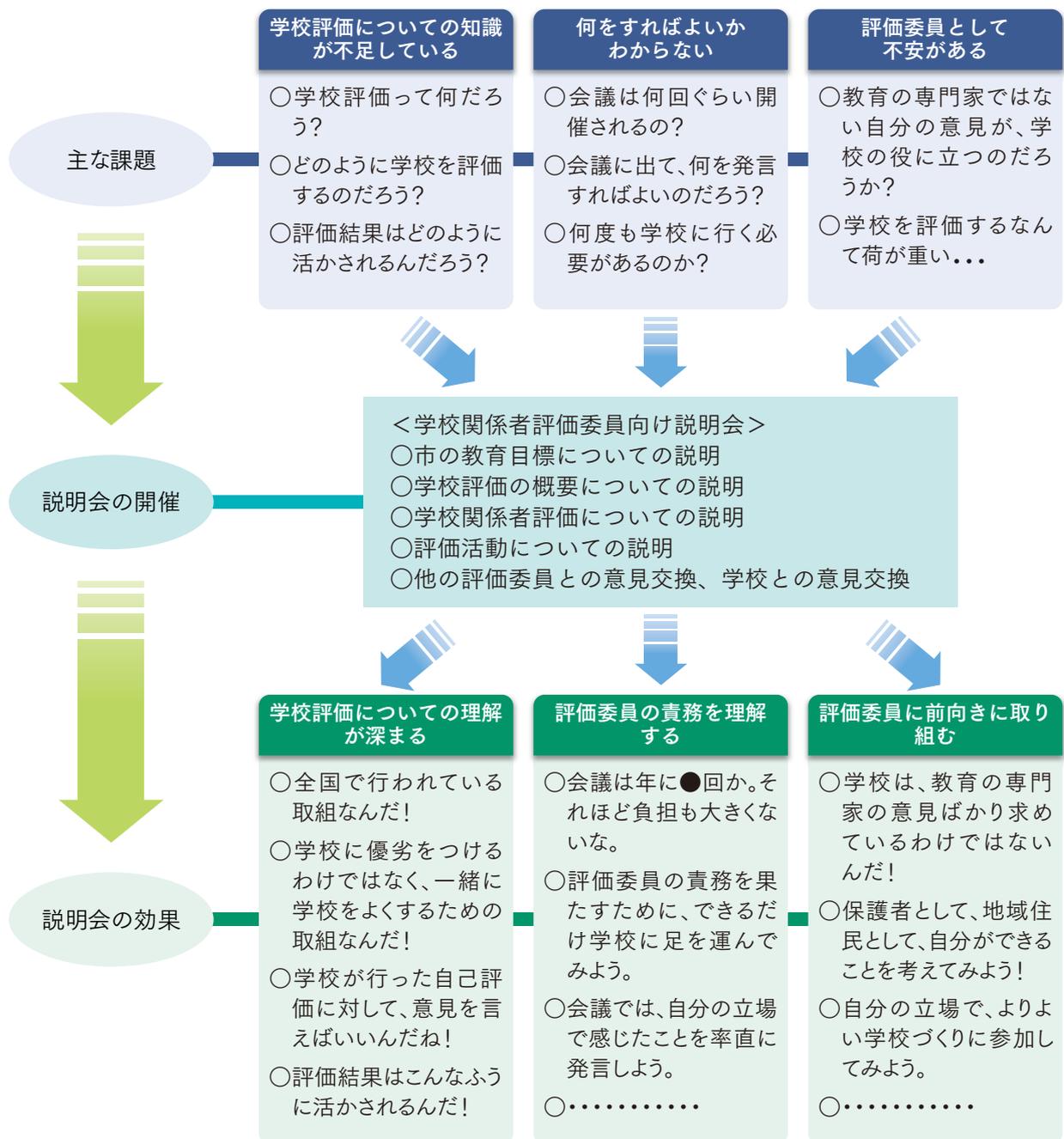
目次

①	説明会開催のススメー目的と効果ー	1
②	評価委員向け説明会ってどんなもの？	2
2.1	説明会の概要	2
	（1）説明会の目的とは	2
	（2）説明会ではこんなことを伝えましょう	2
	（3）説明会プログラムの構成例	3
2.2	説明会教材を活用しよう	4
	（1）説明会教材の使い方	4
	（2）こんな説明会教材があります～教材モデルの提示～	5
2.3	グループディスカッションをやってみよう	17
	（1）グループディスカッションの方法	17
	（2）グループディスカッションを始めよう～基本的な進め方及び教材モデルの提示～	19
③	説明会の開催にあたって	21
3.1	説明会実施手順の全体像	21
3.2	実施上のポイント	22
	（1）プログラムを企画しよう	22
	（2）内容について考えよう	24
	（3）さあ当日です！	25
	（4）次回の開催に向けて	27
参考	学校関係者評価 評価委員向け説明会 参加者アンケート(例)	28

① 説明会開催のススメー目的と効果ー

初めて評価委員を務める方、特に、教育の専門家ではない保護者や地域住民の方は、多くの場合、学校評価についての知識や理解が不足していることなどから、自身が評価委員を務めることに対して不安を抱えています。

説明会の開催は、これらの課題を解決するために有効です。説明会により、評価委員は学校評価に前向きに取り組むことができ、学校評価を効果的に実施することができます。



② 評価委員向け説明会ってどんなもの？

2.1 説明会の概要

(1) 説明会の目的とは

説明会の目的は以下のように整理できます。

- 参加者の当該自治体における教育目標や重点的な取組等に関する理解を深めること
- 参加者の学校評価及び学校関係者評価に関する理解を深めること
- 参加者の評価委員の役割や評価委員に対する期待に関する理解を深めること
- 参加者の評価委員会に参加するにあたっての不安を和らげ、参加の意欲を高めること

また、副次的には、以下も考えられるでしょう。

- 参加者の学校や教育行政に対する思い、あるいはこれらに係る知識の程度等に対する教育委員会の理解を深めること

(2) 説明会ではこんなことを伝えましょう

前述の目的を達成するにあたり、いくつかの事例から、以下のような内容に関する説明が効果的であることが分かっています。本書では、これらに沿った教材を「2.2 説明会教材を活用しよう(4ページ)」に掲載しています。使い方と併せてご活用ください。

●当該自治体の教育目標や取組：

当該自治体の教育目標とねらいや、その実現に向けた取組状況等の説明を通じ、教育行政の方向性の理解を図ります。

●学校評価の概要：

学校評価は、地域や保護者との連携協力による、よりよい学校づくりを推進するための活動であることの理解を深めます。また、学校評価の法制度上の位置付けや、学校評価の種類とそれぞれの関係についても理解を図ります。

●学校関係者評価の概要：

学校関係者評価は、学校の自己評価を基本として、学校関係者評価委員会での検討により進めることや、学校関係者評価の目的についての理解を図ります。

●学校関係者評価委員と学校評議員：

学校評議員、学校運営協議会委員など、学校を取巻く各種組織と、学校関係者評価委員会との関係や相違を提示し、学校関係者評価委員の役割を明確にします。

●当該自治体の学校評価の取組状況：

当該自治体の自己評価、学校関係者評価等について、開始時期や評価結果の傾向等の説明を通じ、これまでどのような学校評価活動が行われ、その結果、どのような学校改善につながったのか等について説明し、理解を深めます。

●評価委員としての基本姿勢：

評価委員として、「教育の専門家だけではなく、学校に身近な保護者や地域住民の方の意見も貴重なものであること」、「“評価” といっても格付けではなく、一緒に学校づくりに取り組む場であること」等の理解を深めます。

●学校評価の進め方：

具体的にどのような活動（評価委員会、学校訪問等）が、どのような目的で、いつごろ実施され、評価結果がどのように活かされるのか等について説明することで、目的意識と予定の見通しを持ってもらいます。

●実際の評価活動の概要：

評価委員会や学校訪問について、その目的、実際の流れ及びそこで評価委員に求められること等を説明し、当日のイメージを具体的に持ってもらうと同時に、参加にあたっての不安を和らげます。

●評価委員へのお願い（メッセージ）：

評価委員にお願いしたいことを簡潔にメッセージとして伝えることで、説明会を通じて理解して欲しいことを強調します。

(3) 説明会プログラムの構成例

以下に説明会プログラムの構成例を示します。前述で示した内容に加え、グループディスカッションを通じ、参加者に模擬的な議論を体験してもらったり、評価委員会に参加するにあたっての不安や課題等を参加者間で共有してもらうことも効果的です。

これはあくまで例示です。実際の設計は、各地の状況を踏まえて行ってください。

講義(演題)名	講師	時間	概要
開催挨拶	教育委員会幹部	10分	教育目標や教育上の課題の概要や、評価委員への期待とお礼等を述べる。
学校関係者評価の概要と評価委員への期待	教育委員会担当者	40分	説明は30分程度とし、10分程度で質疑を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・当該自治体の教育目標や取組 ・学校評価の概要 ・学校関係者評価の概要 ・学校関係者評価委員と学校評議員 ・当該自治体の学校評価の取組状況 ・評価委員としての基本姿勢 ・学校評価の進め方 ・実際の評価活動の概要 ・評価委員へのお願い（メッセージ）
グループディスカッション	教育委員会担当者	20～60分	詳細は、「2.3 グループディスカッションをやってみよう」参照
まとめ	教育委員会幹部	10分	プログラム全体の総括とお礼及び励ましのメッセージを伝える。

※終了後、参加者に対しアンケートを実施し、説明会自体の改善につなげることも考えられます

2.2 説明会教材を活用しよう

(1) 説明会教材の使い方

次項以降に「説明会の教材モデル」を掲載しています。これは、先進事例や有識者等からの意見をもとに作成した素案を、実際に説明会で用いて実証し、修正を加えたものです。主な用途として、以下を想定しています。

- 各地で独自に作成する説明会資料のたたき台として
- 初めて説明会を開催する場合に、準備に先立ち、説明会開催の意義・効果を上司等に説明する際の資料として
- 説明会実施の必要性はあるが、説明会資料作成の余裕がない場合に
- あくまで様式の参考として 等

また、この教材は、基本的に教育委員会が開催する説明会での利用を想定していますが、学校が、保護者や地域住民をはじめとする評価委員全員に対して実施するオリエンテーション等で活用いただくことも可能です。その際は、適宜、学校の教育目標や、学校がこれまで実施した学校評価の結果等を追加しながらご利用ください。

教材の構成は以下となっています。

スライドタイトル	概 要	スライド番号	利用方法 ^{※2}
1 当該自治体の教育	・当該自治体の教育目標や取組	1	独
2 学校評価の概要	・学校評価とは	2	共
	・学校評価の実施のかたち	3	
3 学校関係者評価について	・学校関係者評価とは ・学校関係者評価の目的	4	共
4 学校評議員、学校運営協議会委員と学校関係者評価委員の役割	・学校評議員、学校運営協議会委員等との関係や相違	5	共
5 当該自治体の学校評価の取組状況	・自己評価の取組状況 ・学校関係者評価の取組状況	6、7 ^{※1}	独
6 評価委員会への参加にあたって	・評価委員としての基本姿勢	8	共
7 進め方	・評価委員の役割とスケジュール	9	共
8 実際の評価活動	・評価委員会の目的、内容、期待	10	共
	・学校訪問の目的、内容、期待	11	
9 評価委員のみなさんへ	・評価委員のみなさんへ ～5つのお願い～	12	共

※1 スライド7については、学校のみがお使いになる場合のスライドです。

※2 独：各教育委員会が独自に作成する必要のあるもの

共：教育委員会によらず比較的共通に使えるもの

(2) こんな説明会教材があります ～教材モデルの提示～

1 ○○○市区町村の教育

○○○市区町村の教育目標

記入欄①

○○○市区町村では、教育目標を達成するために、様々な取組を行っています。
今年度は、特に、次の3つについて重点的に取組を行っています。

施策1

記入欄②

施策2

記入欄②

施策3

記入欄②

1. このスライドのねらい

- 学校評価についての説明の前に、その前提として、教育委員会の教育施策全般の方向性を知っていただくためのスライドです。
- 教育委員会として掲げている教育目標、また、その実現に向けた取組状況等の説明を通じて、教育行政や学校についての理解を促進します。

2. このスライドの使い方

- 「記入欄①」に、教育目標を簡潔に記入します。
- 「記入欄②」に、主な教育施策を記入します。特に重点的に取り組んでいる施策を中心に記入するとよいでしょう。
- それほど多くの時間をかける部分ではありませんので、できるだけ簡潔な説明を心がけるとともに、補足資料の配布等、理解を助ける工夫をしましょう。

3. もう一工夫

- 教育振興計画を策定している場合は、参考資料として配布するとよいでしょう。
- 学校や教育に関する基本的な情報（学校数、児童生徒数、教育関連予算）を提示すると、議論の参考になることもあります。
- 目標に加えて、地域の教育課題を簡潔に説明すると、学校評価に対する意識をより高めることができます。



学校がお使いになる場合

学校の取組と関連が深い内容を重点的に説明してもよいでしょう。

2 学校評価の概要

(1) 学校評価とは

『子どもたち一児童生徒がよりよい教育活動を受けられること』を目指し、『学校をよりよくする』ために、学校、保護者の皆様、地域の皆様の協力により進めていく活動です。

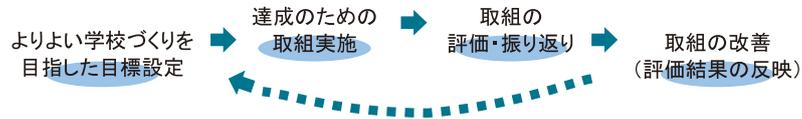
- 学校評価は、法律で規定されており、全国の学校で実施されています。

○学校教育法

第42条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

※幼稚園、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等にもそれぞれ準用されます

- 学校評価は、次の様な学校での取組(自己評価)を基本として進められています。



最も重要なのは、学校評価とは、学校に点数をつけたり優劣を決めるために行われるのではなく、学校、保護者、地域住民等が連携し、よりよい学校をつくっていくために実施されるということです。

2

1. このスライドのねらい

- 学校評価は、学校に優劣をつけたり、監視のために行うためのものではなく、「よりよい学校づくり」のための制度であることを伝えるためのスライドです。
- 「よりよい学校づくり」のためには、地域や保護者との連携協力が不可欠であり、子どもたちのために参加していただきたいということを伝えます。
- また、学校評価は、法律で規定された取組であり、全国で取組が推進されていることを知っていただくことも重要です。
- さらに、学校評価は、継続的な活動であり、目的はあくまでも継続的な「改善」を通じた「よりよい学校づくり」であることを伝えましょう。

2. このスライドの使い方

- すべての教育委員会で、そのままお使いいただくことを想定しています。
- 主な対象が、複数年継続して評価委員を務めている方の場合は、説明を簡潔に済ませてもよいでしょう。

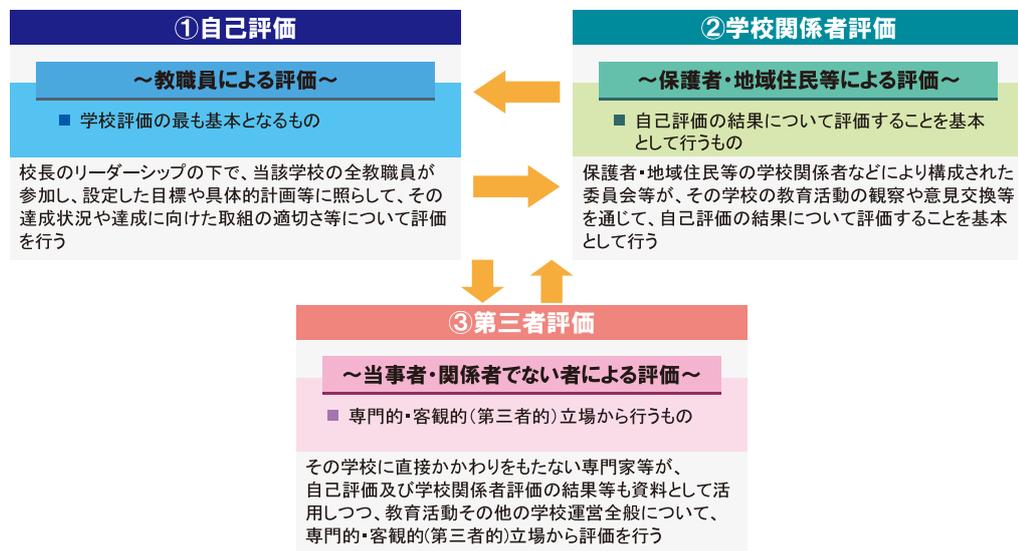
3. もう一工夫

- 各地域で作成しているパンフレットなどがあれば、併せて配布してもよいでしょう。
- あくまで導入ですので、定義等を厳密に伝えようとするあまり、難しくならないよう留意しましょう。法律の引用が難しければ、“学校教育法で規定されている”ことのみを伝えることでもよいでしょう。

2 学校評価の概要

(2) 学校評価の実施のかたち

学校評価の実施手法には、「自己評価」、「学校関係者評価」、「第三者評価」があります。



3

1. このスライドのねらい

- 学校評価の制度の全体像を説明するためのスライドです。
- 学校評価は、学校の「自己評価」を基本として、「学校関係者評価」「第三者評価」の3つの手法から構成されていることを説明してください。
- 制度全体における、学校関係者評価の位置づけを知っていただくことが重要です。

2. このスライドの使い方

- 学校関係者評価の目的の詳細については、次のスライドで説明します。ここでは、制度の全体像を簡潔に伝えます。
- 主な対象が、複数年継続して評価委員を務めている方の場合は、説明を簡潔に済ませてもよいでしょう。
- それぞれの教育委員会の第三者評価の取組状況によって、適宜加工してお使いください。

3. もう一工夫

- 保護者や児童生徒対象のアンケート調査が、学校関係者評価であると誤解される場合もあるので、アンケート調査は、参考資料の一つである(学校関係者評価そのものではない)ことを併せて伝えてもよいでしょう。
- 「外部評価」という呼び方が浸透している地域において、その捉え直しが「学校関係者評価」である場合には、その旨を十分に伝えるとよいでしょう。

3 学校関係者評価について

(1) 学校関係者評価とは

保護者、地域住民等の学校関係者などが、
教職員が実施する自己評価の結果について評価することを基本として行う学校評価です。

- 学校関係者 には様々な方が該当します。
保護者、学校評議員、地域住民(自治会等団体関係者、商店主、企業関係者等)など
- 評価を担う委員会として、学校関係者評価委員会を組織し、みなさんにその委員をお願いしました。



(2) 学校関係者評価の目的

学校の自己評価の妥当性や透明性を高めること

評価活動を通じたコミュニケーションにより、保護者や地域住民などと学校がお互いに理解を深めること

学校に関係する方々が、学校と一緒に子どもを考え、それぞれの立場、視点から意見を出し合うことで、よりよい学校をつくること

4

1. このスライドのねらい

- 学校関係者評価の概要と目的を知っていただくためのスライドです。学校関係者評価が、自己評価を基本とした評価であることは、何年か継続している評価委員でも忘れがちなので、繰り返し伝えるとよいでしょう。
- その場にお集まりの方々に、なぜ評価委員に選ばれたのかを理解してもらうことも、ねらいの一つです。

2. このスライドの使い方

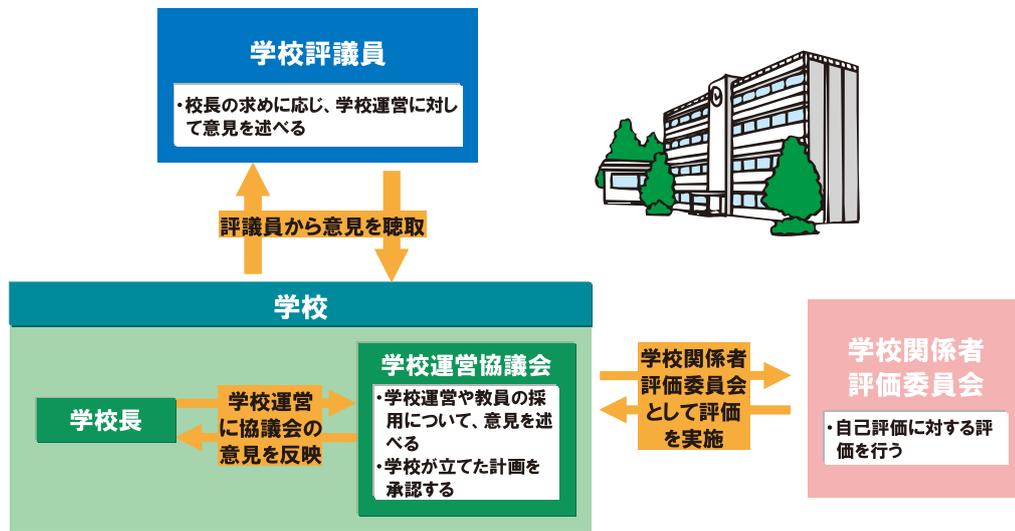
- 評価委員の例示(保護者、学校評議員、地域住民(自治会等団体関係者、商店主、企業関係者等)など)は、各教育委員会の実態に応じて修正してください。
- 学校関係者評価の目的を明確に伝えることは、主な対象者が、複数年継続している評価委員を務めている方の場合でも、非常に重要です。説明の仕方は、 **学校関係者評価参照書** の p1 ⇒ (学校関係者評価とは) も参考にしてください。

3. もう一工夫

- 評価委員の構成、任期等の規程について、併せて伝えてもよいでしょう。
- 学校の自己評価がどのように実施されているかのイメージが湧かない方のために、自己評価の具体例をここで提示することも考えられます。
- 最後に、改めて、評価委員を引き受けていただいたことに感謝の意を表しましょう。

4 学校評議員、学校運営協議会委員と学校関係者評価委員の役割

学校関係者評価委員会と各組織との関係



- 学校関係者評価委員会では、学校に身近な立場(学校関係者評価委員)の方から、自己評価に対する評価・意見を収集し、委員会として取りまとめることになります。

5

1. このスライドのねらい

- 学校評議員、学校運営協議会委員と学校関係者評価委員について、その目的や役割の違いを知っていただくためのスライドです。
- 既に学校評議員や学校運営協議会委員を務めている方は、どのような役割が増えるのかについて、学校関係者評価委員のみに関わる方は、そもそも各組織にどのような目的や役割があるのかについて、不安を抱えておられます。目的や役割の違いを説明するとともに、学校関係者評価委員としてお願いしたいことを明確に伝えるとよいでしょう。

2. このスライドの使い方

- 各教育委員会における制度の導入状況や設置規程に応じて、図や説明文、組織体の名称等を修正してください。

3. もう一工夫

- 学校によって導入状況が異なる場合は、口頭で補足してください。
- 学校評議員、学校運営協議会委員、学校関係者評価委員それぞれの人数、どのような方に依頼しているか、兼務の状況などを説明すると、参加者は具体的な組織と結びつけて理解しやすいでしょう。